



神港学園
神港高等学校
進路指導部
キャリアアップ
サポート通信第8号
平成28年2月1日

新年を迎え、初めての通信です。今年も心と体を鍛練して、すばらしい成果のあがる1年にしたいですね。インフルエンザ・風邪が流行しています。体調に気をつけて、がんばっていきましょう。今回はデザイナーをされておられるサポーターからの回答です。質問は、1～2年生の10人からいただきました。

デザイナーについて

Q1：個人経営は可能ですか？

A1：将来的に個人経営は可能です。しかし、学校を卒業してすぐにフリーのデザイナーになって生活出来るレベルの収入を得るのは難しいです。まずは数年、デザイン事務所などに勤めて経験を積むこととデザインのコンテストなどで賞をとるなど、ある程度の実績が必要です。また、個人経営をするのであればデザイン力だけでなく営業力も必要になってきますので、自分と作品を売り込むプレゼン能力を身につける必要があります。

Q2：月に何回くらい仕事が来ますか？

A2：デザイン事務所の場合、営業担当者がいますのである程度、名の知れたデザイン事務所であれば仕事は切れ間なくあります。また、複数案件を同時並行で進めることが多いのでスケジュール管理能力が必要です。案件の大小にもよりますが、小さい案件であれば、1ヶ月に15件ぐらい並行してデザインをすることもあれば、大きなプロジェクトであれば、1件を専任でトータルプロデュースすることもあります。洋菓子メーカーのバレンタインのデザインをしたときは、1ヶ月で30種類のパッケージデザインと商品カタログと広告・販促グッズ・店頭ディスプレイのデザインなど作成しました。個人経営の場合は、本人の営業力やデザイン力によって、仕事の量にはかなりの差があります。1ヶ月に1・2件しか仕事のない方もいれば、1ヶ月に何十件もの仕事が入る方もいます。件数が少なくても、大きなプロジェクトであればそれなりの収入になります。反対に案件数が多くても、小さな仕事であれば1件あたりの単価は安くなるので、一概に案件の数で判断は出来ません。

Q3：一番大変なことは何ですか？

A3：どんな案件にも締め切りがあります。その締め切りまでに最善のデザインを提案するのですが、なかなかアイデアやデザインが浮かばないこともあります。そんな時は、かなり精神的に追い込まれます。また、デザイン業界は全般的にタイトなスケジュールが多いので、クライアントとの最終打ち合わせが夜中の11時頃に終わり、翌日の朝にデザインを提出などということも多々あるので体調管理は必須です（体力がないと続けられません）。

Q4：革新的なアイデアや発想はどうやって生み出されるのですか、どのような場所で考えるのですか、考える期間は決まっていますか、難しいですか？

A4：自分の引き出しを多くするために、色々な物にアンテナをはる（興味を持つ）こと。それから良いものやクオリティーの高いものを沢山見ること。デザインにまったく関係ないものにも、アイデアのヒントはいっぱいあるので、多くの知識があればそれだけアイデアも豊富になります。アイデアを考える場所は、会社のデスクも多いですが、なかなか案が浮かばないときは、リフレッシュして街角をブラブラしたり、ぐっすり眠ると翌朝ふとアイデアが湧き出てくることがあります。考える期間は、提案までのスケジュールが決まっているので、スケジュール内で考えます。タイトなスケジュールの場合もあるので大変なときもあります。スラスラと案が湧き出てくる時があれば、なかなか案が浮かばないこともあります。考え込んでも浮かばないときは、他のクライアントのデザインを考えたり、リフレッシュして気分転換をします。

Q5：デザインとはどのようなものですか？

A5：グラフィックデザインや家具設計、服飾、工業デザインなど、色々なデザインがありますが、私が経験したことがあるのは、グラフィックデザイン・パッケージデザイン・Webデザイン・テキストデザイン・メーカーでのプロダクトデザインです。デザイナーの仕事は、お客様（クライアント）の考えていることや作りたいもの（求めているもの）を打ち合わせから引き出し、そこからお客様のイメージ（要望）にできる限り近づくように、目に見える形に具体的に落とし込む（デザインすること）です。デザイナーも自分の感性で作品を作りますが、それは、お客様の要望に沿ったデザインでなければいけません。デザイナーが自分の世界観を表現したり、好きなように物を作ったりすることはありません。自分の思う、考えた、感じた世界観を作品で表現したいと思ってデザイナーになりたいと思っているのであれば、芸術家になるか自社ブランドを立ち上げないと難しいです。また、クライアントとの打ち合わせやプロジェクトの企画、提案、アピールなどコミュニケーション能力が求められることも多いです。

Q6：画力は必要ですか、PCでデザインするのですか？

A6：デザイナーにも色々ありますが、クライアントとの打ち合わせの時に、サッとラフスケッチを描いたりするので、ある程度の画力は必要です。最初の打ち合わせや案だしの段階では、ほぼ手描きのラフスケッチを作成して、どの案で進めるかを決めるので打ち合わせの相手に伝わる程度の絵を描けないと仕事になりません。私の経験した、グラフィックデザイン・パッケージデザイン・Webデザイン・テキストデザイン・メーカーでのプロダクトデザインでは最終は全てPCでデザインしています。グラフィックデザイン・パッケージデザインであればAdobe IllustratorやAdobe photoshopを使える方がいいです。雑誌の作成をしたいならAdobe InDesignも使える方がいいです。また、Macを使うことが多いのでWindowsしか使ったことがない場合は、Macにも慣れておく方がいいです。テキストデザインでは、手描きのイラストをPCに取り込んで繰り返しパターンの作成したり、CADなども使用します。メーカーでのプロダクトデザインでは、Adobe IllustratorやAdobe photoshopに加えてCADなども使用します。Webデザインでは、Windowsを使うことが多いです。Adobe Illustrator・Adobe photoshop・Adobe Dreamweaver・Adobe Fireworks・Adobe Flashは使える方がいいです。また、ソフト以外にもHTMLやスタイルシートなどのコーディング技術が必要ですし最新の技術を学ぼうと考えればHTML5やjQueryの技術情報を知っておく必要があります。

Q7：どうやったらなれますか、資格はありますか？

A7：これといった資格が必要な訳ではないので、名刺にデザイナーという肩書きを入れれば誰でもデザイナーになれます。しかし、仕事としてやるなら「画力は必要ですか、PCでデザインするのですか」の質問で回答しているようなソフトが使えることとある程度の画力とスキルは必要です。それから、デザインすることが好きなこと！（かなりキツイ仕事なので好きじゃないと続けられません。）

Q8：営業はどんな仕事ですか？

A8：お客様に対して、自社の商品を売り込み買っていただくのが仕事です。自社の商品をよく勉強して、お客様（企業の方）にとって最善の提案をします。ルート営業と飛び込み営業の2パターンがあります。ルート営業の場合、あらかじめ取引のある企業や個人に対しての営業なのである程度の勝算があり、新規開拓というより顧客の要望にこたえるというのが重要になってくると思います。飛び込み営業の場合、まったく取引のない企業や個人に対しての営業なので断られることの方が多い中での新規開拓となるので度胸と強いハートが無いとかなり落ち込むことがあります。しかし、難しい分だけ新しい顧客を獲得できたときの達成感は飛び込み営業のほうが大きいです。また、給与面でもルート営業は固定給の場合が多いですが、飛び込み営業は、歩合給の場合が多いです。どちらにしろ、コミュニケーション能力は必須です。積極性が求められる職業だと思います。元気に挨拶が出来ることも大切なので、運動部出身の方が向いていると思います。

Q9：大学は行った方がいいですか？

A9：デザイナー・営業どちらでもそうですが、大企業・中企業に就職したいのであれば大学に行った方がいいです。何故かといえば、求人募集要項に大学卒業程度という企業が多いからです。大学に行く＝求人の選択肢が増えるからです。まだ、やりたいことが定まっていないのであれば大学に進学することをおすすめします。もし、やりたいことが決まっているのであれば、その職業や行きたい企業の出資している専門学校などで就職に有利な専門学校などもあるので、そちらに進んでみるのもいいと思います。また何か質問がございましたらお答えいたします。（以上です）